

ポータル拡張

v1.1.1

- 商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
- 個別の商標・著作物に関する注記については、サイボウズのWebサイトを参照してください。
<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>
- なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

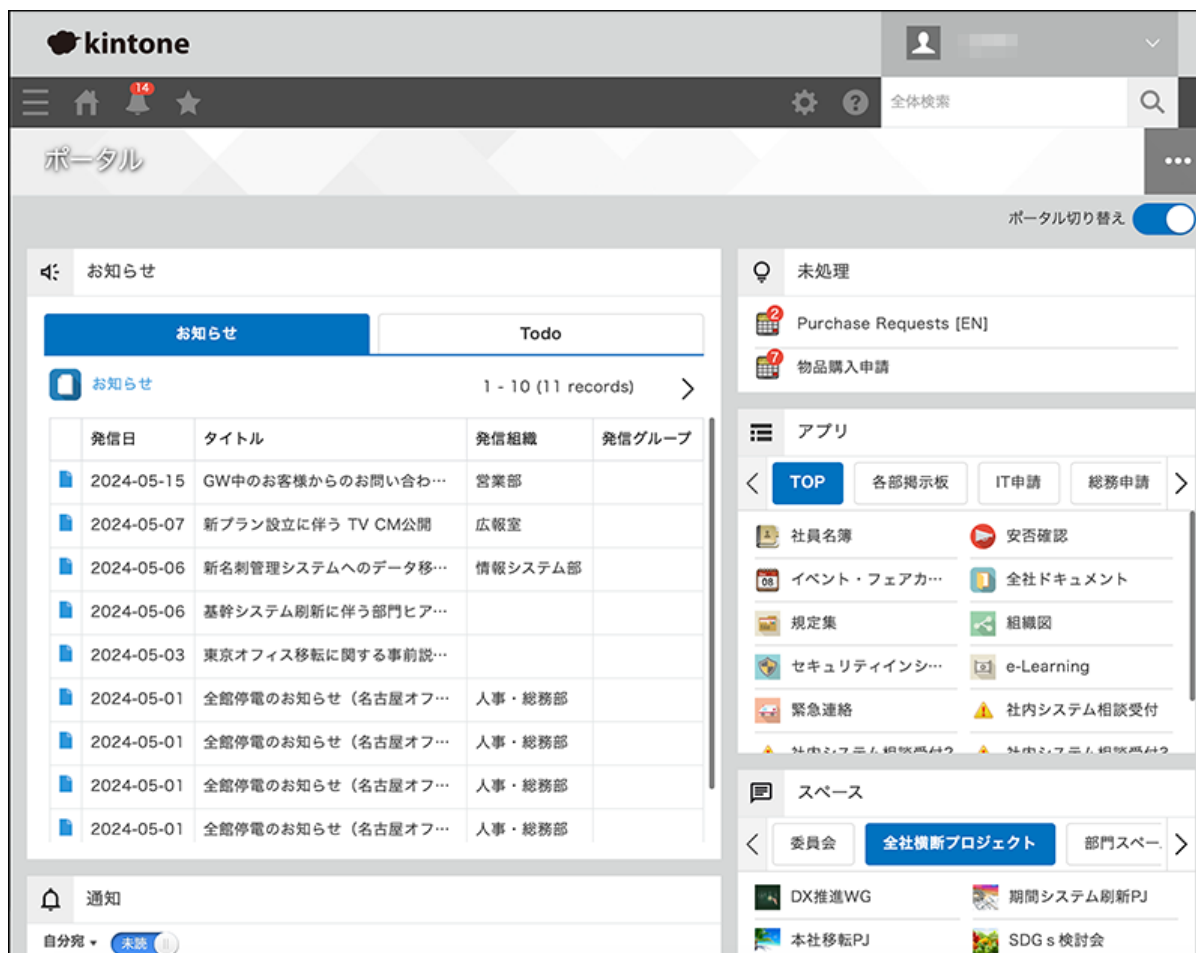
目次

1 章 ポータル拡張機能の概要	4
2 章 動作環境	6
3 章 ポータル拡張機能の設定	7
3.1. ポータル拡張機能の設定手順	7
3.1.1. STEP1：ポータル拡張設定アプリを追加する	7
3.1.2. STEP2：ポータル拡張設定アプリにカスタマイズファイルを適用する	10
3.1.3. STEP3：kintone全体にカスタマイズファイルを適用する	11
3.1.4. STEP4：レコードのアクセス権を設定する	14
3.1.5. STEP5：カテゴリーの選択肢を変更する	19
3.1.6. STEP6：ポータルに表示する内容を登録する	21
3.2. ポータル拡張機能の設定項目	24
4 章 ポータルの使いかた	31
5 章 制限事項	35
6 章 ポータル拡張設定アプリの初期値	37

1 章 ポータル拡張機能の概要

ポータル拡張機能を利用すると、kintoneのポータルに、組織やグループごとに異なるお知らせやアプリ、スペースへのリンクメニューを表示できます。

また、アプリやスペースも任意の項目に分類して表示できます。



ポータルに表示する内容は、ポータル拡張設定アプリで設定します。



モバイル表示でもポータル拡張機能を利用できます。

2 章 動作環境

Webブラウザの動作環境はkintoneの動作環境に準じます。

詳細は、次のページを確認してください。

[動作環境](#)

本機能はkintoneワイドコースをご契約いただいているお客様のみ利用可能です。ワイドコース以外では正常に動作しません。

3 章 ポータル拡張機能の設定

ポータル拡張機能を使い始めるために必要な設定について説明します。

ポータル拡張機能を使うための設定は、次の手順で行います。

[STEP1：ポータル拡張設定アプリを追加する\(7ページ\)](#)

[STEP2：ポータル設定アプリにカスタマイズファイルを適用する\(10ページ\)](#)

[STEP3：kintone全体にカスタマイズファイルを適用する\(11ページ\)](#)

[STEP4：レコードのアクセス権を設定する\(14ページ\)](#)

[STEP5：カテゴリーの選択肢を更新する\(19ページ\)](#)

[STEP6：ポータルに表示する内容を設定する\(21ページ\)](#)

ポータル拡張設定アプリの設定項目の詳細は、次のページを参照してください。

[プラグインの設定項目\(24ページ\)](#)

3.1. ポータル拡張機能の設定手順

ポータル拡張機能を使うために、必要な設定手順について説明します。

3.1.1. STEP1：ポータル拡張設定アプリを追加する

テンプレートファイルを使って、ポータル拡張設定アプリを追加します。

❗ 注意

- ポータル拡張設定アプリをスペースに追加する場合は、公開スペースに追加してください。
- ポータル拡張設定アプリで変更できるのは、「アプリカテゴリー」と「スペースカテゴリー」の「項目と順番」だけです。ほかの設定項目や、各フィールドコードは変更しな

いでください。

変更した場合、ポータルのカスタマイズでエラーが発生することがあります。

手順

1. kintoneのポータルで、「アプリ」欄にある+の形をした[アプリを作成する]アイコンをクリックします。



2. [テンプレートファイルを読み込んで作成]をクリックします。
3. 「テンプレートファイルを読み込んで作成」ダイアログで、[参照]をクリックし、ポータル拡張設定アプリのテンプレートファイルを選択します。
4. [アプリを作成]をクリックします。



これで、ポータル拡張設定アプリが追加できました。

「アプリのアクセス権」の設定について

ポータル拡張設定アプリは、カスタムポータルを表示するユーザー全員にレコード閲覧権限を付与する必要があります。

「アプリのアクセス権」画面で、Everyoneの「許可する操作」の[レコード閲覧]にチェックが入っているか確認してください。

アプリのアクセス権
[ヘルプ](#)
[便利に使おうガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

アプリを利用できるユーザーを指定・制限することや、所属するアプリグループを変更することができます。レコードの操作（閲覧、追加、編集、削除など）の制限だけでなく、アプリの設定を変更可能なユーザーの指定（アプリ管理権限の付与）もこの画面から行います。

アプリグループ
 Public

ユーザー／組織／グループとアクセス権

ユーザー／組織／グループ	許可する操作	
アプリ作成者	☒ レコード閲覧 ☒ レコード追加 ☒ レコード編集 ☒ レコード削除 ☒ アプリ管理 ☒ ファイル読み込み ☒ ファイル書き出し	<input checked="" type="button" value="×"/>
Everyone	☒ レコード閲覧 ☐ レコード追加 ☒ レコード編集 ☒ レコード削除 ☐ アプリ管理 ☐ ファイル読み込み ☐ ファイル書き出し	

[レコードの追加]については、ポータルに表示するアイテムを追加するユーザーや組織、グループを必要に応じて設定してください。

なお、ポータルに表示するアイテムの閲覧、編集および削除権限の設定は、[STEP4\(14ページ\)](#)で行います。

kintoneのアプリのアクセス権の詳細については、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[アプリにアクセス権を設定する](#)

3.1.2. STEP2：ポータル拡張設定アプリにカスタマイズファイルを適用する

ポータル拡張設定アプリにカスタマイズファイルを適用します。この操作には、kintoneシステム管理権限が必要です。

手順

1. [STEP1\(7ページ\)](#)で追加したポータル拡張設定アプリを開きます。
2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。

3. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[JavaScript / CSSでカスタマイズ]を選択します。
4. 「適用範囲」で[すべてのユーザーに適用]を選択します。
5. 「PC用のJavaScript / CSSファイル」の「JavaScriptファイル」の[アップロードして追加]をクリックし、次のファイルを追加します。
portal-extension_setting-app_desktop_v*.*_customization.js
6. 画面右下の[保存]をクリックします。

7. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
8. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
カスタマイズファイルがアプリに反映されます。

これでポータル拡張設定アプリにカスタマイズファイルが適用されました。

3.1.3. STEP3：kintone全体にカスタマイズファイルを適用する

ポータル拡張に必要なカスタマイズファイルを適用します。

カスタマイズファイルを変更する

まず、カスタマイズファイルの内容を、使用するアプリやユーザーにあわせて変更します。
ユーザーIDの確認には、cybozu.com共通管理者権限が必要です。

1. ポータル拡張設定アプリの「レコード一覧」画面を開いて、表示されるURLからアプリIDを確認します。
URLの末尾に表示されている数字が、アプリIDです。このアプリIDは、手順4で使します。
`https://（サブドメイン名）.cybozu.com/k/（アプリのID）`
2. ポータルの管理者として設定したいユーザーの「ユーザー情報の変更」画面を開き、表示されるURLからユーザーIDを確認します。
URLの末尾に表示されている数字が、ユーザーIDです。このユーザーIDは、手順5で使します。
`https://（サブドメイン名）.cybozu.com/admin/directory/editUser?id=（ユーザーID）`
「ユーザー情報の変更」画面の開き方の詳細は、次のcybozu.comヘルプを参照してください。
[ユーザー情報を変更する](#)
ポータルの管理者として設定されたユーザーは、ポータル拡張を適用したポータルと、通常のポータルの切り替えができるようになります。
3. 「portal-extension_configuration_customization.js」を開きます。

4. 「PORTAL_EXTENSION_SETTINGS_APP_ID:」に続いて書かれている数値を、手順1で確認したアプリIDに変更します。

```
1 window.kintonePortalExtensionCustomization = {  
2   PORTAL_EXTENSION_SETTINGS_APP_ID: 207,  
3   ADMINISTRATOR_USER_IDS: [10, 12, 27]  
4 };
```

5. 「ADMINISTRATOR_USER_IDS:」に続いて書かれているユーザーIDを、手順1で確認したユーザーIDに変更します。
複数のユーザーIDを指定する場合は、カンマ (,) で区切って記載します。

```
1 window.kintonePortalExtensionCustomization = {  
2   PORTAL_EXTENSION_SETTINGS_APP_ID: 207,  
3   ADMINISTRATOR_USER_IDS: [10, 12, 27]  
4 };
```

6. 「portal-extension_configuration_customization.js」を保存します。
これで、「portal-extension_configuration_customization.js」の準備ができました。

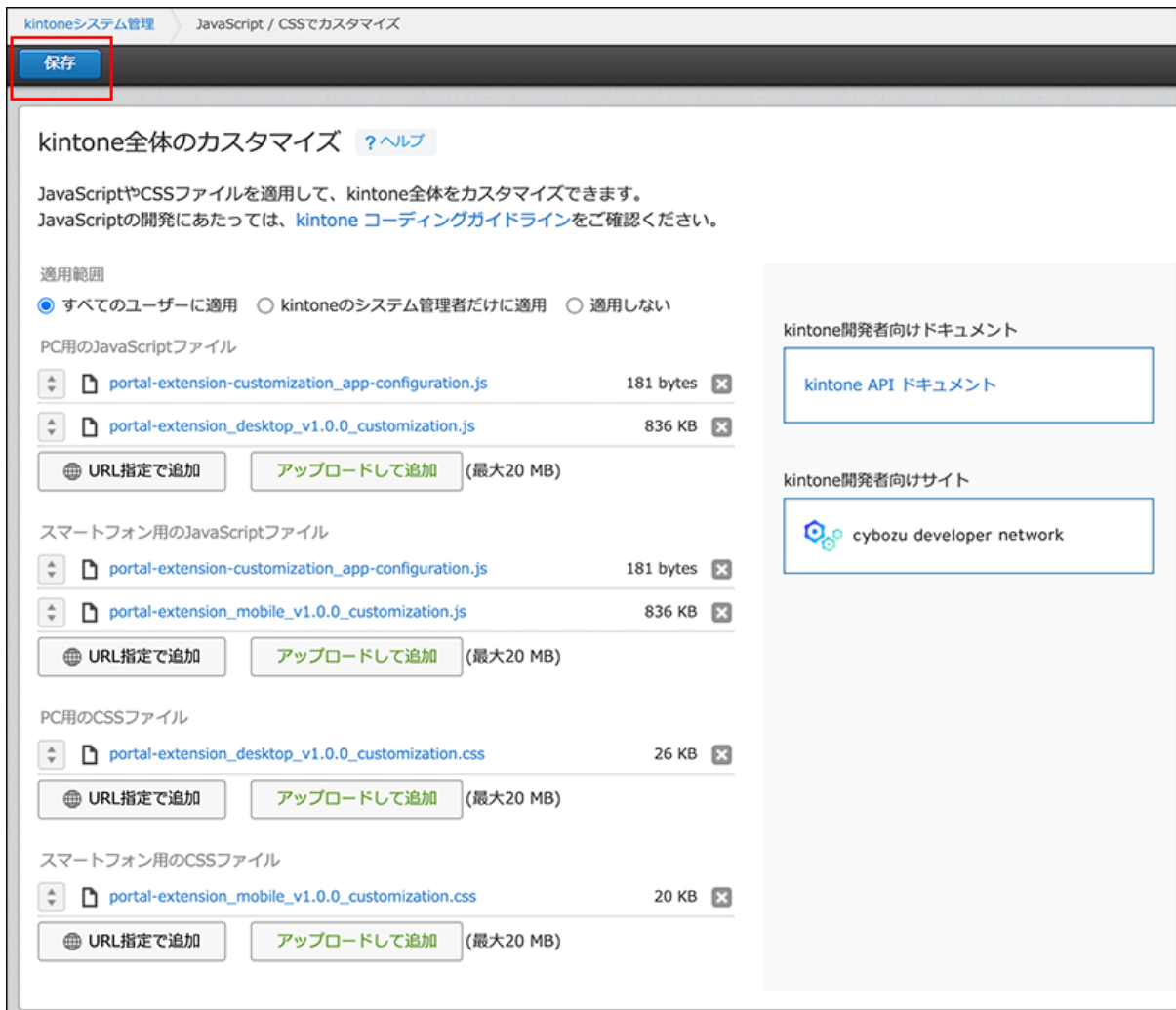
カスタマイズファイルを適用する

次に、カスタマイズファイルをkintoneに適用します。この操作には、kintoneシステム管理権限が必要です。

1. kintoneの画面上部の歯車の形をした[設定]アイコンをクリックし、[kintoneシステム管理]を開きます。



2. 「カスタマイズ」の[JavaScript / CSSでカスタマイズ]をクリックします。
3. カスタマイズの適用範囲を選択します。
ここでは[kintoneのシステム管理者だけに適用]を選択して、正しく動くのが確認できた後に、[すべてのユーザーに適用]に変更することを推奨します。
4. 「PC用のJavaScriptファイル」の[アップロードして追加]をクリックし、次の2つのファイルを追加します。
 - portal-extension_configuration_customization.js
このファイルが上になるように追加してください。
 - portal-extension_desktop_v*.*_customization.js
5. 「スマートフォン用のJavaScriptファイル」の[アップロードして追加]をクリックし、次の2つのファイルを追加します。
 - portal-extension_configuration_customization.js
このファイルが上になるように追加してください。
 - portal-extension_mobile_v*.*_customization.js
6. 「PC用のCSSファイル」の[アップロードして追加]をクリックし、次のファイルを追加します。
portal-extension_desktop_v*.*_customization.css
7. 「スマートフォン用のCSSファイル」の[アップロードして追加]をクリックし、次のファイルを追加します。
portal-extension_mobile_v*.*_customization.css
8. 画面左上の[保存]をクリックします。



これで、kintone全体にカスタマイズファイルが適用できました。

3.1.4. STEP4：レコードのアクセス権を設定する

ポータル拡張設定アプリに、レコードのアクセス権を設定します。

ポータル拡張設定アプリのレコード閲覧権限に応じて、ポータル拡張を使用しているポータルでのアイテムの表示有無が変わります。

この設定が正しくされていない場合、ポータル拡張設定アプリのレコード内で指定する「権限設定」が動作しません。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件	ユーザー/組織/グループとアクセス権																
すべてのレコード	ユーザーを追加 または フォームのフィールドを追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー/組織/グループ</th> <th>許可する操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織 (閲覧・編集可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>グループ (閲覧・編集可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>ユーザー (閲覧・編集可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>組織 (閲覧可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>グループ (閲覧可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>ユーザー (閲覧可)</td> <td> ☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承 </td> </tr> <tr> <td>Everyone</td> <td> ☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 </td> </tr> </tbody> </table>	ユーザー/組織/グループ	許可する操作	組織 (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	グループ (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	ユーザー (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	組織 (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	グループ (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	ユーザー (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除
ユーザー/組織/グループ	許可する操作																
組織 (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
グループ (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
ユーザー (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
組織 (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
グループ (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
ユーザー (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承																
Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除																

手順

1. [STEP1\(7ページ\)](#)で追加したポータル拡張設定アプリを開きます。
 2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。
- 
3. [設定]タブの「アクセス権」にある[レコード]を選択します。
 4. 「レコードのアクセス権」画面で[追加する]をクリックします。
 5. 「Everyone」から、[閲覧]、[編集]、[削除]のすべての権限のチェックを外します。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件	ユーザー/組織/グループとアクセス権				
すべてのレコード	ユーザーを追加 または フォームのフィールドを追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー/組織/グループ</th> <th>許可する操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Everyone</td> <td> ☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 </td> </tr> </tbody> </table>	ユーザー/組織/グループ	許可する操作	Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除
ユーザー/組織/グループ	許可する操作				
Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除				

6. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[ユーザー（閲覧可）]を選択します。

レコードのアクセス権 [ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

追加する

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [+](#) または [フォームのフィールドを追加](#) [v](#)

ユーザー/組織/グループ

許可

検索 [フィールドを検索](#)

更新者

作成者

ユーザー（閲覧可）

グループ（閲覧可）

組織（閲覧可）

ユーザー（閲覧・編集可）

グループ（閲覧・編集可）

組織（閲覧・編集可）

7. 「ユーザー（閲覧可）」に、[閲覧]の権限のチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

追加する

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [+](#) または [フォームのフィールドを追加](#) [v](#)

ユーザー/組織/グループ

許可する操作

☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除

ユーザー（閲覧可）

Everyone

☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除

8. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[グループ（閲覧可）]を選択します。

9. 「グループ（閲覧可）」に、[閲覧]の権限のチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使おうガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 ②		ユーザー／組織／グループとアクセス権 ②	
レコードの条件	すべてのレコード ▼ +	ユーザーを追加 🔍 👤 または フォームのフィールドを追加 ▼ ✕	
	ユーザー／組織／グループ	許可する操作	
	グループ（閲覧可）	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	✕
	ユーザー（閲覧可）	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	✕
	Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	

10. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[組織（閲覧可）]を選択します。

11. 「組織（閲覧可）」に、[閲覧]の権限のチェックを入れます。
下位組織にも同じアクセス権を設定する場合は、[アクセス権の継承]にもチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使おうガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 ②		ユーザー／組織／グループとアクセス権 ②	
レコードの条件	すべてのレコード ▼ +	ユーザーを追加 🔍 👤 または フォームのフィールドを追加 ▼ ✕	
	ユーザー／組織／グループ	許可する操作	
	組織（閲覧可）	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	✕
	グループ（閲覧可）	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	✕
	ユーザー（閲覧可）	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	✕
	Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	

12. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[ユーザー（閲覧・編集可）]を選択します。

13. 「ユーザー（閲覧・編集可）」に、[閲覧]と[編集]の権限のチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

追加する

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [Q](#) [+](#) または [+](#) フォームのフィールドを追加 [v](#) [x](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作	
+ ユーザー (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除	x
+ 組織 (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	x
+ グループ (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ ユーザー (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	

14. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[グループ (閲覧・編集可)]を選択します。
15. 「グループ (閲覧・編集可)」に、[閲覧]と[編集]の権限のチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

追加する

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [Q](#) [+](#) または [+](#) フォームのフィールドを追加 [v](#) [x](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作	
+ グループ (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除	x
+ ユーザー (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除	x
+ 組織 (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	x
+ グループ (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ ユーザー (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	

16. [フォームのフィールドを追加]をクリックし、[組織 (閲覧・編集可)]を選択します。
17. 「組織 (閲覧・編集可)」に、[閲覧]と[編集]の権限のチェックを入れます。
下位組織にも同じアクセス権を設定する場合は、[アクセス権の継承]にもチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使おうガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [Q](#) [+](#) または [+](#) フォームのフィールドを追加 [v](#) [x](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作	
+ 組織 (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	x
+ グループ (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除	x
+ ユーザー (閲覧・編集可)	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☐ 削除	x
+ 組織 (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☒ アクセス権の継承	x
+ グループ (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ ユーザー (閲覧可)	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	x
+ Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除	

18. 画面右下の[保存]をクリックします。

19. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。

20. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。

これでレコードのアクセス権が設定できました。

3.1.5. STEP5：カテゴリーの選択肢を変更する

ポータル拡張機能では、アプリやスペースをカテゴリーごとに表示できます。



このカテゴリーの項目を変更する方法を説明します。

！ 注意

ポータル拡張設定アプリで変更できるのは、「アプリカテゴリー」と「スペースカテゴリー」の「項目と順番」だけです。ほかの設定項目や、各フィールドコードは変更しないでください。

変更した場合、エラーが発生することがあります。

手順

1. [STEP1\(7ページ\)](#)で追加したポータル拡張設定アプリを開きます。
2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックし、[フォーム]タブを選択します。



3. 「アプリカテゴリー」フィールドの右上にある歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。



4. 「項目と順番」の内容を、必要に応じて修正します。
ここで設定した項目が、アプリのカテゴリー欄に表示されます。
5. [保存]をクリックします。
6. 「スペースカテゴリー」フィールドの右上にある歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。



7. 「項目と順番」の内容を、必要に応じて修正します。
ここで設定した項目が、スペースのカテゴリー欄に表示されます。
8. [保存]をクリックします。
9. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
10. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
カテゴリーがアプリに反映されます。

これでポータルに表示したいカテゴリーが設定できました。

3.1.6. STEP6：ポータルに表示する内容を登録する

ポータル拡張設定アプリで、ポータルに表示するアイテムをレコードとして登録します。
ポータルに表示したいアイテムの数だけ、レコードを登録してください。

各設定項目の詳細は、次のページを参照してください。

[ポータル拡張の設定項目\(24ページ\)](#)

手順

1. [STEP1\(7ページ\)](#)で追加したポータル拡張設定アプリを開きます。
2. 「レコードの一覧」画面の右上にある+の形をした[レコードを追加する]アイコンをクリックします。



3. 「アイテムの種類」で、追加するアイテムの種類を選択します。
 - App：アプリの場合に選択します。アプリ欄に表示されます。
 - Space：スペースの場合に選択します。スペース欄に表示されます。
 - Announcement：お知らせ欄の「お知らせ」タブに表示されます。
 - Todo：お知らせ欄の「Todo」タブに表示されます。
4. 「表示デバイス」で、表示するデバイスを選択します。
 - Desktop & Mobile：PC表示とモバイル表示の両方に表示する場合に選択します。
 - Desktop only：PC表示だけに表示する場合に選択します。
5. 「表示順」に1以上の数値を入力します。
 - アイテムの種類で「App」または「Space」を選択している場合：
数値が小さいアイテムから順に表示されます。左から右、上から下の順で並びます。
重複する値を設定した場合は、ポータル拡張設定アプリに登録されたレコード番号の昇順で並びます。
 - アイテムの種類で「Announcement」または「Todo」を選択している場合：
ログインユーザーに閲覧権限があり、「表示順」で指定された数値が最も小さいレコードが、「お知らせ」タブまたは「Todo」タブに表示されます。
重複する値を設定した場合は、ポータル拡張設定アプリに登録されたレコード番号の昇順で並びます。
6. 「表示名」を入力します。

7. 「アイテムのリンク」に、アイテムのURLを入力します。
「アプリのアイコンURL/スペースのカバーURL」は、入力した値に応じて、レコード保存時に自動で入力されます。
8. 「権限設定」で、このアイテムを閲覧または編集するユーザー、グループ、または組織を指定します。
ここで設定されたユーザー、グループ、または組織のみが、このアイテムをポータルやポータル拡張設定アプリで閲覧または編集できます。
kintoneを使うすべてのユーザーに対して閲覧権限を付与する場合は、「グループ（閲覧可）」に「Everyone」を指定してください。
詳細は、次のページを参照してください。

[権限設定\(25ページ\)](#)

以降は、「アイテムの種類」で選択した内容に応じて進んでください。

「App」を選択した場合

1. 「アプリカテゴリー」で、カテゴリーを選択します。
2. 画面上の[保存]をクリックします。

「Space」を選択した場合

1. 「スペースカテゴリー」で、カテゴリーを選択します。
2. 画面上の[保存]をクリックします。

「Announcement」または「Todo」を選択した場合

1. 「ページのレコード数」に、「お知らせ」または「Todo」のテーブルの各ページに表示したいレコード数を、1以上の数値で入力します。
2. 「取得クエリ」を入力します。ここに記載したクエリに基づいて、アプリのレコードが取得されます。
レコードの取得件数（limit）は20件程度に設定することを推奨します。
詳細は、次のページを参照してください。
[取得クエリ\(29ページ\)](#)
3. 「表示するフィールド」に、「お知らせ」または「Todo」に表示したいフィールドを入力します。フィールド名とフィールドコードを指定します。

表示できるフィールドタイプの詳細は、次のページを参照してください。

[表示するフィールド\(29ページ\)](#)

これで、ポータルに表示するアイテムの情報が登録されました。

補足

ポータル拡張設定アプリに登録した情報は、ブラウザーに4時間キャッシュされるため、初回の情報取得から4時間経過するまでの変更はブラウザーに反映されません。
設定したアイテムが表示されるかをすぐに確認したい場合は、ブラウザーの開発者ツールからキャッシュを一時的にクリアします。

3.2. ポータル拡張機能の設定項目

ポータル拡張機能で設定できる各項目について説明します。

共通設定

共通設定にある項目について説明します。

アイテムの種類

次の選択肢から一つを指定します。この項目は必須です。

- App：アプリの場合に選択します。アプリ欄に表示されます。
- Space：スペースの場合に選択します。スペース欄に表示されます。
- Announcement：お知らせ欄の「お知らせ」タブに表示されます。
- Todo：お知らせ欄の「Todo」タブに表示されます。

表示デバイス

次の選択肢から一つを指定します。この項目は必須です。

- Desktop & Mobile：PC表示とモバイル表示の両方に表示する場合に選択します。
- Desktop Only：PC表示だけに表示する場合に選択します。

表示順

表示順を、1以上の数値で指定します。この項目は必須です。

アイテムの種類で「App」または「Space」を選択している場合

数値が小さいアイテムから順に表示されます。左から右、上から下の順で並びます。
重複する値を設定した場合は、ポータル拡張設定アプリに登録されたレコード番号の昇順で並びます。

アイテムの種類で「Announcement」または「Todo」を選択している場合

ポータル拡張設定アプリに登録されたレコードの中で、ログインユーザーに閲覧権限があり、「表示順」で指定された数値が最も小さいレコードが、「お知らせ」タブまたは「Todo」タブに表示されます。
重複する値を設定した場合は、ポータル拡張設定アプリに登録されたレコード番号が最も小さいレコードが表示されます。

表示名

表示名を入力します。この項目は必須です。

アイテムのリンク

表示するアイテムのURLを記入します。この項目は必須です。

アプリアイコンのURL / スペースのカバーURL

アプリに設定されたアイコンの表示用URL、スペースのカバー画像の表示用URLが設定されます。
レコードを保存すると、このフィールドの値は自動で入力されます。

権限設定

アイテムを閲覧または編集するユーザー、グループまたは組織を選択します。ここで設定されたユーザー、グループ、または組織のみが、このアイテムをポータルやポータル拡張設定アプリで閲覧または編集できます。

アイテムの閲覧だけを許可したい場合は、下記フィールドで、閲覧を許可したいユーザー、グループまたは組織を選択します。

- ユーザー（閲覧可）
- グループ（閲覧可）
- 組織（閲覧可）

kintoneを使うすべてのユーザーに対して閲覧権限を付与する場合は、「グループ（閲覧可）」に「Everyone」を指定します。

アイテムの閲覧と編集を許可する場合は、下記フィールドで、閲覧と編集を許可したいユーザー、グループまたは組織を選択します。

- ユーザー（閲覧・編集可）
- グループ（閲覧・編集可）
- 組織（閲覧・編集可）

補足

- ポータル拡張設定アプリのレコードを閲覧できるユーザーであれば、ポータルにアイテムが表示されます。閲覧を制限しているアプリやスペースをポータル拡張設定アプリのレコードに登録する場合は、ポータル拡張設定アプリのレコードの「権限設定」が意図した設定になっているか、注意してください。
- アプリのアクセス権とレコードのアクセス権が適切に設定されている必要があります。権限設定の内容が反映されない場合は、下記を確認してください。
 - ポータル拡張設定アプリの「アプリのアクセス権」の設定で、カスタムポータルを表示するユーザー全員にレコード閲覧権限が付与されているか
 - レコードのアクセス権が下記のページのとおり設定されているか
[STEP4：レコードのアクセス権を設定する\(14ページ\)](#)

AppとSpaceの追加設定

アイテムの種類で「App」または「Space」を選択した場合に設定します。

アプリカテゴリー

アイテムの種類で「App」を選択した場合に設定します。

アプリ欄でどのカテゴリーに表示するかを選択します。「アイテムの種類」で「App」を選択した場合、この項目は必須です。



アプリカテゴリーを変更する場合は、アプリの設定画面で、「アプリカテゴリー」フィールドの項目を変更します。

詳細は、次のページを参照してください。

[STEP4：カテゴリーの選択肢を更新する\(14ページ\)](#)

スペースカテゴリー

アイテムの種類で「Space」を指定した場合に設定します。

スペース欄でどのカテゴリーに表示するかを選択します。「アイテムの種類」で「Space」を選択した場合、この項目は必須です。



スペースカテゴリーを変更する場合は、アプリの設定画面で、「スペースカテゴリー」フィールドの項目を変更します。

詳細は、次のページを参照してください。

[STEP4：カテゴリーの選択肢を更新する\(14ページ\)](#)

AnnouncementとTodoの追加設定

アイテムの種類で「Announcement」または「Todo」を選択した場合に設定します。

ページごとのレコード数

「お知らせ」または「Todo」のテーブルの各ページに表示したいレコード数を、1以上の値で設定します。

お知らせ				
お知らせ			Todo	
お知らせ			1 - 8 (8 records)	
発信日	タイトル	発信組織	発信グループ	
2024年5月15日	GW中のお客様からのお問い合わせ…	営業部		
2024年5月15日	テスト			
2024年5月7日	新プラン設立に伴う TV CM公開	広報室		
2024年5月6日	新名刺管理システムへのデータ移…	情報システム部		
2024年5月6日	基幹システム刷新に伴う部門ヒア…			
2024年5月3日	東京オフィス移転に関する事前説…			
2024年5月1日	全館停電のお知らせ（名古屋オフ…	人事・総務部		
2024年4月30日	新プラン発売に際しての社内説明会	商品企画部		

取得クエリ

お知らせ欄の「お知らせ」や「Todo」に表示するアプリのレコード取得条件をクエリで指定します。

クエリの書き方の詳細は、cybozu developer networkの次のページを参照してください。

[クエリの書き方](#)

たとえば、次のように指定した場合、フィールドコードが「更新日時」のフィールドを基準に、降順（新しい順）で20レコード取得します。

```
order by 更新日時 desc limit 20
```

❗ 注意

レコードの取得件数（limit）に指定している数値が大きい場合、性能に影響が発生する可能性があります。

性能への影響を抑制するために、レコードの取得件数（limit）は20件程度に設定することを推奨します。

表示するフィールド

お知らせ欄の「お知らせ」や「Todo」に表示するフィールドを設定します。

フィールド名とフィールドコードを指定します。「アイテムの種類」で「Announcement」または「Todo」を選択した場合、この項目は必須です。

表示できるフィールドは次のとおりです。

- 文字列（1行）
- 文字列（複数行）
- 数値
- ラジオボタン
- ドロップダウン
- 日付
- 時刻
- 日時
- リンク

リンクではなく、テキストで表示されます。

- ユーザー選択
- 組織選択
- グループ選択
- 作成者
- 作成日時
- 更新者
- 更新日時

テーブル内のフィールドは表示できません。

+ アイコンをクリックすると、表示するフィールドを増やすことができます。

フィールド名やフィールドコードは、表示するアプリの「アプリの設定」画面から、各フィールドの設定を開くと確認できます。

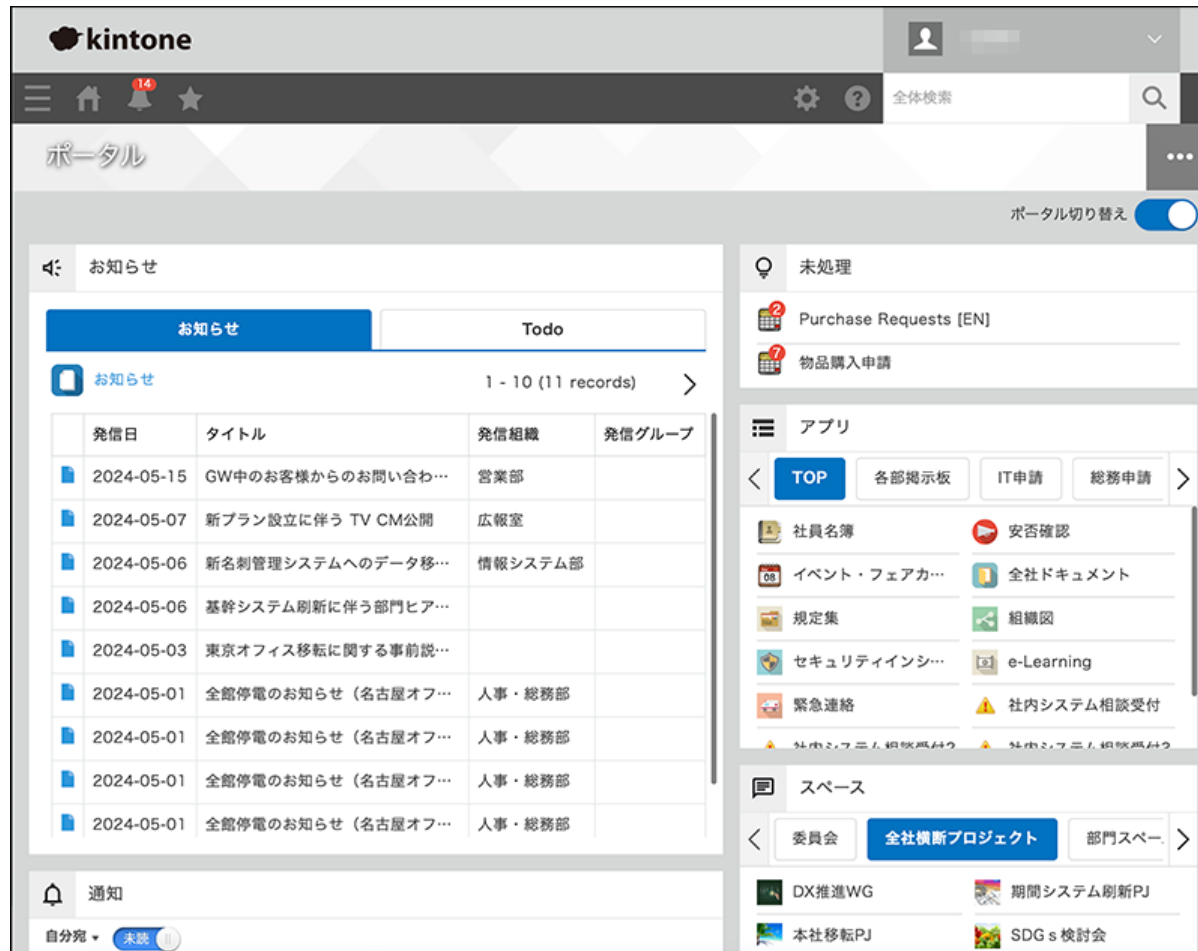
The screenshot shows a form builder interface with a sidebar of field types and a main dialog box for configuring a 'Text (1 row)' field. The sidebar includes options like Label, Rich Text Editor, Number, Radio Button, Multiple Selection, Date, Date/Time, Link, Organization Selection, Group Selection, Related Record View, Space, Group, Record Number, Creation Date/Time, and Update Date/Time. The dialog box, titled '文字列（1行）の設定', contains the following settings:

- フィールド名 ***: A text input field containing 'タイトル'.
- ☐ フィールド名を表示しない
- ☐ 自動計算する ?
- ☐ 必須項目にする
- ☐ 値の重複を禁止する
- 文字数 (整数で指定)**: Two input fields for '最小' (Minimum) and '最大' (Maximum).
- 初期値**: A text input field.
- フィールドコード ***: A text input field containing 'title' with a checkmark icon.

At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save).

4 章 ポータルの使いかた

ポータル拡張機能を使っている場合の、ポータルの使いかたについて説明します。



！ 注意

ポータル拡張設定アプリがメンテナンス中の場合、カスタマイズを使用したポータルは正常に表示されず、エラーが表示されます。

メンテナンスモードについての詳細は、次のページを参照してください。

[アプリのメンテナンスモードを開始／終了する](#)

お知らせ欄

お知らせ				
お知らせ			Todo	
お知らせ			1 - 8 (8 records)	
発信日	タイトル	発信組織	発信グループ	
2024年5月15日	GW中のお客様からのお問い合わせ…	営業部		
2024年5月15日	テスト			
2024年5月7日	新プラン設立に伴う TV CM公開	広報室		
2024年5月6日	新名刺管理システムへのデータ移…	情報システム部		
2024年5月6日	基幹システム刷新に伴う部門ヒア…			
2024年5月3日	東京オフィス移転に関する事前説…			
2024年5月1日	全館停電のお知らせ（名古屋オフ…	人事・総務部		
2024年4月30日	新プラン発売に際しての社内説明会	商品企画部		

「お知らせ」と「Todo」が表示されます。
タブをクリックすると、表示を切り替えられます。

！ 注意

「お知らせ」や「Todo」に登録されたアプリがメンテナンス中の場合、該当のアプリは正常に表示されず、エラーが表示されます。

メンテナンスモードについての詳細は、次のページを参照してください。

[アプリのメンテナンスモードを開始／終了する](#)

アプリ欄



カテゴリーごとにアプリが表示されます。
カテゴリーをクリックすると、それぞれのカテゴリーに応じたアプリが表示されます。

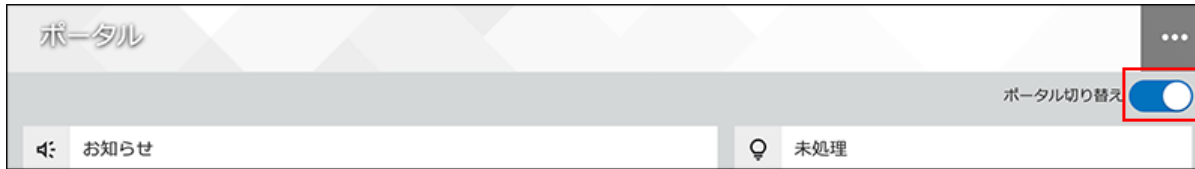
スペース欄



カテゴリーごとにスペースが表示されます。
カテゴリーをクリックすると、それぞれのカテゴリーに応じたスペースが表示されます。

ポータルの切り替え

「ポータル切り替え」のトグルスイッチをオフにすると、カスタマイズを使用していないポータルに切り替わります。



このトグルスイッチが表示されるのは、「portal-extension_configuration_customization.js」ファイル内の「ADMINISTRATOR_USER_IDS」で指定されているユーザーのみです。

5 章 制限事項

ポータル拡張機能の制限事項は次のとおりです。

- サポートしている言語は日本語のみです。
- 組織間のアクセスを禁止しているドメインでの利用は動作保証外です。
- ゲストユーザーには、ポータル拡張を適用したポータルは表示されません。
- ポータル拡張を使用している場合、「ポータルの設定」ダイアログで設定した内容は利用できません。
「ポータルの設定」ダイアログについては、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[ポータルの設定を変更する](#)

- ポータル拡張設定アプリは、モバイル版では利用できません。
- ポータル拡張設定アプリで変更できるのは、「アプリカテゴリー」と「スペースカテゴリー」の「項目と順番」だけです。ほかの設定項目や、各フィールドコードは変更しないでください。変更した場合、エラーが発生することがあります。
- ポータルへの同時アクセス数が1分間に300件以内での利用を想定しています。ピーク性が非常に高い環境では、性能に影響が発生する可能性があります。
- ユーザーがポータルにアクセスしたとき、ポータル拡張を使用しているポータルが表示される前に、通常のポータルが読み込まれます。そのため、ポータル拡張を使用しているポータルにアクセスやリロードをしたときも、通常のポータルのリソースとAPIが呼び出されます。
- ポータル拡張設定アプリの全レコードの項目に設定した情報はブラウザに4時間キャッシュされます。そのため、初回の情報取得から4時間経過するまでの変更はブラウザに反映されません。
- ポータル拡張設定アプリのレコードの件数は、アプリまたはスペースごとに最大100件程度を想定しています。レコードの件数が多い場合、性能に影響が発生する可能性があります。
- お知らせまたはToDoで参照する各アプリのレコードの件数は、最大1,000件程度を想定しています。レコード件数が多い、またはアクセス権限が複雑なアプリを設定した場合、性能に影響が発生する可能性があります。
- ポータル拡張を適用したポータル上のお知らせ、ToDoのテーブルではポータル拡張設定アプリの取得クエリフィールドで指定されたレコードの取得件数（limit）分のみ表示されます。レコードの取得件数（limit）は20件程度に設定することを推奨します。ページあたりの表示件数も、20件程度に設定することを推奨します。推奨値を超える値を設定した場合、性能に影響が発生する可能性があります。

- アプリのアイコンやスペースのカバー画像は、ポータル拡張設定アプリでレコードを更新するタイミングで設定されている画像が反映されます。アプリやスペース側で画像を更新した場合は、ポータル拡張設定アプリでレコードを更新してください。
- お知らせ、Todoのアイテムについて、ゲストスペース内のアプリやほかドメインのアプリはポータル拡張設定アプリで設定できません。また、ポータル拡張を適用したポータル上でデータを取得することができません。

6 章 ポータル拡張設定アプリの初期値

ポータル拡張設定アプリに配置されているフィールドの初期値は次のとおりです。

⚠ 注意

ポータル拡張設定アプリで変更できるのは、「アプリカテゴリー」と「スペースカテゴリー」の「項目と順番」だけです。ほかの設定項目や、各フィールドコードは変更しないでください。

変更した場合、ポータルのカスタマイズでエラーが発生することがあります。

共通設定

アイテムの種類

フィールドタイプ

ラジオボタン

フィールド名

アイテムの種類

項目と順番

- App
- Space
- Announcement
- Todo

フィールドコード

item_type

表示デバイス

フィールドタイプ

ラジオボタン

フィールド名

表示デバイス

項目と順番

- Desktop & Mobile
- Desktop only

フィールドコード

display_devices

| 表示順

フィールドタイプ

数値

フィールド名

表示順

必須項目にする

チェックあり

値の制限

最小：1

フィールドコード

display_order

| 表示名

フィールドタイプ

文字列（1行）

フィールド名

表示名

必須項目にする

チェックあり

フィールドコード

display_name

アイテムのリンク

フィールドタイプ

リンク

フィールド名

アイテムのリンク

入力値の種類

Webサイトのアドレス

必須項目にする

チェックあり

フィールドコード

link_to_item

アプリアイコンのURL / スペースのカバーURL

フィールドタイプ

文字列（1行）

フィールド名

アプリのアイコンURL / スペースのカバーURL

フィールドコード

display_image_url

権限設定

ユーザー（閲覧可）

フィールドタイプ

ユーザー選択

フィールド名

ユーザー（閲覧可）

フィールドコード

user_selection_view

グループ（閲覧可）

フィールドタイプ

グループ選択

フィールド名

グループ（閲覧可）

フィールドコード

group_selection_view

組織（閲覧可）

フィールドタイプ

組織選択

フィールド名

組織（閲覧可）

フィールドコード

department_selection_view

ユーザー（閲覧・編集可）

フィールドタイプ

ユーザー選択

フィールド名

ユーザー（閲覧・編集可）

フィールドコード

user_selection_view_edit

グループ（閲覧・編集可）

フィールドタイプ

グループ選択

フィールド名

グループ（閲覧・編集可）

フィールドコード

group_selection_view_edit

組織（閲覧・編集可）

フィールドタイプ

組織選択

フィールド名

組織（閲覧・編集可）

フィールドコード

department_selection_view_edit

AppとSpaceの追加設定

アプリカテゴリー

フィールドタイプ

ラジオボタン

フィールド名

アプリカテゴリー

項目と順番

- TOP
- 各部掲示板
- IT申請
- 総務申請
- 人事関連
- 出張関連
- アンケート
- 施設予約
- その他

フィールドコード

app_category

補足

アプリカテゴリーの「項目と順番」は変更できます。詳細は、次のページを参照してください。

[STEP4：カテゴリーの選択肢を更新する\(14ページ\)](#)

| スペースカテゴリー

フィールドタイプ

ラジオボタン

フィールド名

スペースカテゴリー

項目と順番

- 委員会
- 全社横断プロジェクト
- 部門スペース
- ノウハウWiki
- FAQ
- 相談スレッド
- その他

フィールドコード

space_category

補足

スペースカテゴリーの「項目と順番」は変更できます。詳細は、次のページを参照してください。

[STEP4：カテゴリーの選択肢を更新する\(14ページ\)](#)

AnnouncementとTodoの追加設定

ページごとのレコード数

フィールドタイプ

数値

フィールド名

ページごとのレコード数

値の制限

最小：1

初期値

10

フィールドコード

number_records_per_page

取得クエリ

フィールドタイプ

文字列（1行）

フィールド名

取得クエリ

初期値

limit 20

フィールドコード

fetch_query

表示するフィールド

フィールドタイプ

テーブル

テーブル名

表示するフィールド

フィールドコード

display_fields

フィールド名

「表示するフィールド」内のフィールドとして配置します。

フィールドタイプ

文字列（1行）

フィールドコード

field_name

フィールドコード

「表示するフィールド」内のフィールドとして配置します。

フィールドタイプ

文字列（1行）

フィールドコード

field_code

発行日:2025年7月8日
© Cybozu